

【例題－警察官B 1】

人口減少や少子高齢化が経済に与える影響に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア. 少子高齢化が進むと労働力人口が減少するため、経済成長を維持するには、女性や高齢者の就労促進や、労働力の質の向上などが求められる。
- イ. 一般に、高齢者は可処分所得に占める消費の割合が高いため、少子高齢化が進むと、一国の家計全体の可処分所得に占める消費の割合は低下する。
- ウ. 消費税と所得税を比べると、消費税の方が現役世代に税負担が偏りやすく、少子高齢化の下では世代間の不公平拡大につながりやすい。
- エ. 日本の公的年金制度は、現役世代が引退世代の年金給付を負担する方式を基本としており、少子高齢化により年金財政の悪化が懸念されている。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. ウ, エ

(正答) 3